

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（工業技術基礎） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（工業技術基礎）

単位数：（3）単位

対象：（第 1 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（工業技術基礎、木材加工系実技教科書）

使用教材：（プリント）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|---|--|---|----------|
| 4月 | ・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工 | ・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。 | [評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 [評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 等を総合的に考慮して評価を行う。 | 1 |
| 5月 | ・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工 | ・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。 | | 9 |
| 6月 | ・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工 | ・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。 | | 9 |
| 7月 | ・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工 | ・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。 | | 5 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工 | ・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。 | | 8 |
| 10月 | ・製図 線の練習、文字の練習 ・造形 立体模型 ・木工 基礎的な加工 | ・製図 説明を聞き、キレイな線が引ける。また、文字もキレイに書ける。 ・造形 模型道具を使用し、模型が作れる。 ・木工 木材加工における基礎的な加工ができる。 | | 9 |
| 11月 | ・製図 LDK図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理 | ・製図 説明を聞き、建築図面が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。 | | 6 |
| 12月 | ・製図 LDK図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理 | ・製図 説明を聞き、建築図面が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。 | | 7 |
| 1月 | ・製図 家具図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理 | ・製図 第三角法の三面図が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。。 | | 6 |
| 2月 | ・製図 家具図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理 | ・製図 第三角法の三面図が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。。 | | 6 |
| 3月 | ・製図 家具図面 ・造形 立体模型 ・木工 手道具管理 | ・製図 第三角法の三面図が書ける。 ・造形 模型道具を使用し、創意工夫した模型が作れる。 ・木工 道具の保守・点検をすることができる。。 | | 6 |

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（工業情報数理） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（工業情報数理）

単位数：（2）単位

対象：（第 1 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（工業情報数理 ）

使用教材：（プリント ）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--------------------------------------|---|--|----------|
| 4月 | ・PC基本操作 ・産業社会と情報技術 | ・タイピング練習 ・(1)コンピュータの歴史 (2)情報技術の発展と産業社会 | <p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p> | 4 |
| 5月 | ・word、Excelの基本操作 ・産業社会と情報技術 | ・Word、Excelの基本操作を解説し、理解させる。 ・(3)コンピュータでの情報表現と情報デザイン (4)情報セキュリティ | | 5 |
| 6月 | ・word、Excelの基本操作 ・コンピュータシステム | ・Word、Excelの基本操作を解説し、理解させる。 ・(1)ハードウェア (2)ソフトウェア (3)ネットワーク | | 6 |
| 7月 | ・word、Excelの基本操作 ・コンピュータシステム | ・Word、Excelの基本操作を解説し、理解させる。 (3)ネットワーク (4)データベース | | 3 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(1)SI単位 (2)計測と精度 | | 6 |
| 10月 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(3)コンピュータを活用した数値処理 | | 6 |
| 11月 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(4)コンピュータを活用した数値処理 | | 5 |
| 12月 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作 ・数値処理 | ・Illustrator、Photoshopの基本操作を解説し、理解させる。 ・(5)コンピュータを活用した数値処理 | | 4 |
| 1月 | ・Powerpointの基本操作 ・アルゴリズムとプログラミング | ・Powerpointの基本操作を解説し、理解させる。 ・(1)プログラミングの基礎 | | 4 |
| 2月 | ・Powerpointの基本操作 ・アルゴリズムとプログラミング | ・Powerpointの基本操作を解説し、理解させる。 ・(2)制御プログラミング | | 6 |
| 3月 | ・発表 ・アルゴリズムとプログラミング | ・Powerpointを使用し、発表することができる。 ・(2)制御プログラミング | | 3 |

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iエレメント実習I） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iエレメント実習I）

単位数：（3）単位

対象：（第2学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（木材加工系実技教科書、インテリアエレメント生産等）

使用教材：（プリント）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|---|--|--|----------|
| 4月 | ①木工具の手入れ 鉋の手入れ状況を確認する。 ②木工具の手入れ 鑿の手入れ状況を確認する。 | 一年次に学んだ木工具の手入れ(刃研ぎ)を理解できる。 | <p>〔評価の観点〕 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>〔評価方法〕 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p> | 3 |
| 5月 | ①図面を読む 三面図による部材の寸法を確認する。 ②墨付け 課題に墨付け道具を使用して、墨付けができる。 | ①三面図に表記された部材の加工法について理解できる。 ②スコヤ・白書き・罫引きの使い方を理解し、使用することができる。 | | 9 |
| 6月 | ①墨付け 図面を基に墨付け道具を使用して、墨付けができる。 ②加工 墨付けした課題を加工することができる。 | ①スコヤ・白書き・罫引きの使い方を理解し、使用することができる。 ②木工具の使い殻を理解し、使用することができる。 | | 14 |
| 7月 | ①墨付け 図面を基に墨付け道具を使用して、墨付けができる。 ②加工 墨付けした課題を加工することができる。 | ①スコヤ・白書き・罫引きの使い方を理解し、使用することができる。 ②木工具の使い殻を理解し、使用することができる。 | | 5 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①柄と柄穴加工 ②棒材のデザインおよび加工 | ①手加工による基礎的な加工の方法を理解できる。 ②曲線部の装飾箇所を糸鋸や帯鋸盤の使用法や注意点を理解し、正確に加工ができる。 | | 10 |
| 10月 | ①柄と柄穴加工 ②棒材のデザインおよび加工 | ①手加工による基礎的な加工の方法を理解できる。 ②曲線部の装飾箇所を糸鋸や帯鋸盤の使用法や注意点を理解し、正確に加工ができる。 | | 6 |
| 11月 | ①柄と柄穴加工 ②棒材のデザインおよび加工 | ①手加工による基礎的な加工の方法を理解できる。 ②曲線部の装飾箇所を糸鋸や帯鋸盤の使用法や注意点を理解し、正確に加工ができる。 | | 9 |
| 12月 | ①座面の設計 各自デザインする。 ②座面の製作 各自選択した座面の種類を理解し、適切に加工する。 | ①座面の種類を理解しデザインできる。 ②座面のデザインや使用感の違いについて理解できる。 | | 8 |
| 1月 | ①組手の加工 手加工による組手の加工法と注意点について解説する。 ②素地調整 加工法によりできた適切な素地調整ができる。 | ①木口台を使用した基礎的な加工法について理解できる。 ②研磨紙による素地調整ができる。 | | 6 |
| 2月 | ①仮組・接着 各部材を接合し、接着をする。 ②塗装 各部材の塗装をする。 | ①各部材の接合面の加工状況を把握し、微調整ができる。 ②各部材の加工状況を把握し、塗装ができる。 | 9 | |
| 3月 | ①仮組・接着 各部材を接合し、接着をする。 ②塗装 各部材の塗装をする。 | ①各部材の接合面の加工状況を把握し、微調整ができる。 ②各部材の加工状況を把握し、塗装ができる。 | 3 | |

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習I） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習I）

単位数：（3）単位

対象：（第2学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア計画等）

使用教材：（プリント）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--|---|--|----------|
| 4月 | ①色彩 色の働き ②文字のレタリング | ①色について基本的な知識を身につける。 ②文字について理解し、伝えやすいデザインについて考えることができる。 | <p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p> | 5 |
| 5月 | ①色彩 色彩心理 ②文字のレタリング | ①色について基本的な知識を身につける。 ②文字について理解し、伝えやすいデザインについて考えることができる。 | | 12 |
| 6月 | ①色彩 色彩調和 ②家具製図 手書き | ①色について基本的な知識を身につける。 ②図面から家具を理解し、表現方法を身につけることができる。 | | 11 |
| 7月 | ①色彩 ファッション ②家具製図 手書き | ①色について基本的な知識を身につける。 ②図面から家具を理解し、表現方法を身につけることができる。 | | 4 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①インテリア計画 造形心理 ②家具製図 手書き | ①面積計算、建ぺい率、容積率について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 8 |
| 10月 | ①インテリア計画 インテリアと人間工学 ②色彩表現 透明水彩 | ①面積計算、建ぺい率、容積率について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 11 |
| 11月 | ①インテリア計画 寸法計画と規模計画 ②色彩表現 透明水彩 | ①平面図、立面図、断面図について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 10 |
| 12月 | ①インテリア計画 各種空間の計画 ②色彩表現 透明水彩 | ①平面図、立面図、断面図について ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 5 |
| 1月 | ①インテリア計画 各種空間の計画と演習 ②デザイン表現 名刺のデザイン | ①今までの学んだことを生かした空間デザインの設計 ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 10 |
| 2月 | ①インテリア計画 各種空間の計画と演習 ②デザイン表現 名刺のデザイン | ①今までの学んだことを生かした空間デザインの設計 ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 8 |
| 3月 | ①インテリア計画 プレゼンテーション ②デザイン表現 名刺のデザイン | ①今までの学んだことを生かした空間デザインの設計 ②わかりやすいプレゼンテーションボードを作成することができる。 | | 4 |

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア製図） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア製図）

単位数：（2）単位

対象：（第 2 学年1科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア製図 ）

使用教材：（プリント等 ）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|-----------------|---|--|----------|
| 4月 | 製図の基礎学習 | 三角法や線の用途、展開図を学び、書くことができる。 | <p>[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度</p> <p>[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況</p> <p>等を総合的に考慮して評価を行う。</p> | 2 |
| 5月 | 製図の基礎学習 | 線や記号の用途を理解し、使用することができる。 | | 4 |
| 6月 | 製図の基礎学習 | 断面図や寸法の表示方法を書くことができる。 | | 8 |
| 7月 | 製図の基礎学習 | 三面図・立面図を理解し、線種や記号に注意して図面を書くことができる。 | | 2 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 手書きによる建築平面図の作成 | 線や記号の用途を理解して建築平面図を書くことができる。 | | 4 |
| 10月 | 手書きによる建築平面図の作成 | 線や記号の用途を理解して建築平面図を書くことができる。 | | 6 |
| 11月 | 手書きによる建築平面図の作成 | 建築物に合わせた家具やレイアウト図を書くことができる。 | | 10 |
| 12月 | CADによる建築製図図面の作成 | パソコンのCADソフトを使って建築平面図を作成することができる。 | | 2 |
| 1月 | CADによる建築製図図面の作成 | パソコンのCADソフトを使って建築平面図を作成することができる。 | | 6 |
| 2月 | CADによる建築製図図面の作成 | パソコンのCADソフトを使って建築平面図を作成し、立体表示をすることができる。 | | 6 |
| 3月 | | | | |

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：(インテリア) 科目：(Iエレメント実習Ⅱ) 年間授業計画

教科：(インテリア) 科目：(Iエレメント実習Ⅱ)

単位数：(4) 単位

対象：(第 3 学年I科)

教科担当者：

使用教科書：(木材加工系実技教科書、インテリアエレメント生産等)

使用教材：(プリント)

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--------------------------------------|---|--|----------|
| 4月 | 木工具の手入れ 鉋・鑿の手入れ状況を確認する。 | 今まで使用した木工具の手入れ(刃研ぎ)ができる。 | 授業態度(姿勢)提出物 (課題・ノート等)などを 総合して判断する。 | 4 |
| 5月 | ①木工機械の操作 ②課題のデザイン決め ③照明のデザイン決め | ①木工機械の名称について理解させる。 ②課題について理解させ、自分のデザインを決める。 ③照明器具について理解させる。 | | 12 |
| 6月 | ①棒材の墨付け ②板材の墨付け ③照明 | ①自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ②自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ③照明デザインに合う素材を決める。 | | 16 |
| 7月 | ①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明 | ①自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ②自分のデザインに合う木材を選択し墨付け作業ができる。 ③照明デザインに合う素材を決める。 | | 4 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明 | ①墨付け・手加工・機械加工作業ができる。 ②墨付け・手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。 | | 12 |
| 10月 | ①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明 | ①手加工・機械加工作業ができる。 ②手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。 | | 16 |
| 11月 | ①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明 | ①手加工・機械加工作業ができる。 ②手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。 | | 20 |
| 12月 | ①棒材の加工 ②板材の加工 ③照明 | ①手加工・機械加工作業ができる。 ②手加工・機械加工作業ができる。 ③素材を理解し加工ができる。 | | 6 |
| 1月 | ①棒材の加工仕上げ ②板材の加工仕上げ ③PC操作 | ①仮組みを行い、目地払いや素地調整ができる。 ②仮組みを行い、目地払いや素地調整ができる。 ③作品撮りを行い、ポートフォリオを作成することができる。 | | 10 |
| 2月 | ①座面の加工仕上げ ②組立て・着色 ③PC操作 | ①座面素材を理解し、座面をつくることができる。 ②着色について理解し、着色することができる。 ③作品撮りを行い、ポートフォリオを作成することができる。 | | 12 |
| 3月 | ①座面の加工仕上げ ②組立て・着色 ③PC操作 | ①座面素材を理解し、座面をつくることができる。 ②着色について理解し、着色することができる。 ③作品撮りを行い、ポートフォリオを作成することができる。 | | 4 |

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習Ⅱ） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（Iプレゼンテーション実習Ⅱ）

単位数：（4）単位

対象：（第 3 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア装備、インテリアエレメント生産等

使用教材：（プリント

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--------------------------------------|--|---------------------------|----------|
| 4月 | ①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1 | ①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。 | 授業態度、提出物（作品）、発表を総合して判断する。 | 10 |
| 5月 | ①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1 | ①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。 | | 10 |
| 6月 | ①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1 | ①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。 | | 20 |
| 7月 | ①プレゼンテーション力の向上1 ②建築計画を学び住宅・商店を設計1 | ①プレゼンボードを作成して、プレゼンテーション力を学ぶ。 ②建築計画を学び、住宅設計と店舗設計をする。 | | 2 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作 | ①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。 | | 18 |
| 10月 | ①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作 | ①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。 | | 12 |
| 11月 | ①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作 | ①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。 | | 16 |
| 12月 | ①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作 | ①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。 | | 6 |
| 1月 | ①住宅模型の制作 ②焦点模型の制作 | ①住宅設計をしたものを模型製作をする。 ②商店設計をしたものを模型製作をする。 | | 8 |
| 2月 | ①プレゼンテーション力の向上2 ②プレゼンテーション力の向上3 | ①プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した住宅のプレゼンテーションをして、発表をする。 ②プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した商店のプレゼンテーションをして、発表をする。 | | 12 |
| 3月 | ①プレゼンテーション力の向上2 ②プレゼンテーション力の向上3 | ①プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した住宅のプレゼンテーションをして、発表をする。 ②プレゼンボードとパワーポイントを作成して、自身で設計した商店のプレゼンテーションをして、発表をする。 | | 8 |

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア製図） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア製図）

単位数：（3）単位

対象：（第 3 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（インテリア製図等）

使用教材：（プリント）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|------------------------------|--|---------------------------------|----------|
| 4月 | ①住宅設計製図 ②店舗設計製図 | ①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図 | 授業態度（姿勢）提出物（作品等）・発表などを総合して判断する。 | 6 |
| 5月 | ①住宅設計製図 ②店舗設計製図 | ①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図 | | 15 |
| 6月 | ①住宅設計製図 ②店舗設計製図 | ①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図 | | 12 |
| 7月 | ①住宅設計製図 ②店舗設計製図 | ①ゾーニング・エスキース・平面図 ②ゾーニング・エスキース・平面図 | | 1 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計 | | 7 |
| 10月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計 | | 9 |
| 11月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計 | | 12 |
| 12月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計 | | 7 |
| 1月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計 ②3DCADによる店舗等の設計 | | 9 |
| 2月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計・ポートフォリオ ②3DCADによる店舗等の設計・ポートフォリオ | | 9 |
| 3月 | ①住宅設計製図（CAD） ②店舗設計製図（CAD） | ①3DCADによる住宅等の設計・ポートフォリオ ②3DCADによる店舗等の設計・ポートフォリオ | | 4 |

工芸高等学校校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア実習） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア実習）

単位数：（4）単位

対象：（第 4 学年1科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（プリント ）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|------------------------------|--|---|----------|
| 4月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | 授業態度（姿勢）提出物 （作品等）・発表などを総 合して判断する。 | 8 |
| 5月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | | 20 |
| 6月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | | 12 |
| 7月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | | 4 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | | 8 |
| 10月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | | 12 |
| 11月 | ①照明器具の制作 ②箸・スプーンの制作 | ①たくさんの照明を調べデザインを考える。 ②箸・スプーンのデザインを考える。 | | 16 |
| 12月 | ①ポートフォリオの作成1 ②ポートフォリオの作成2 | ①自分で制作した照明をポートフォリオにする。 ②自分で制作した箸・スプーンをポートフォリオにする。 | | 10 |
| 1月 | ①ポートフォリオの作成1 ②ポートフォリオの作成2 | ①自分で制作した照明をポートフォリオにする。 ②自分で制作した箸・スプーンをポートフォリオにする。 | | 12 |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（インテリア製図） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（インテリア製図）

単位数：（3）単位

対象：（第 4 学年I科）

教科担当者：

使用教科書：（

使用教材：（プリント ）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|------------------|---|---------------------------------|----------|
| 4月 | ①自由設計製図1 | ①空間デザインによる自由設計 | 授業態度（姿勢）提出物（作品等）・発表などを総合して判断する。 | 8 |
| 5月 | ①自由設計製図1 | ①空間デザインによる自由設計 | | 13 |
| 6月 | ①自由設計製図1 | ①空間デザインによる自由設計 | | 9 |
| 7月 | ①自由設計製図1 | ①空間デザインによる自由設計 | | 6 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | ①インテリアコーディネーター演習 | ①インテリアコーディネーター演習 （立面図、展開図、パース図、アイソメ、アクソメ等） | | 12 |
| 10月 | ①インテリアコーディネーター演習 | ①インテリアコーディネーター演習 （立面図、展開図、パース図、アイソメ、アクソメ等） | | 11 |
| 11月 | ①PCでの図面操作 | ①CG等における自由設計・ポートフォリオ | | 10 |
| 12月 | ①PCでの図面操作 | ①CG等における自由設計・ポートフォリオ | | 7 |
| 1月 | ①PCでの図面操作 | ①CG等における自由設計・ポートフォリオ | | 8 |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（インテリア）科目：（課題研究） 年間授業計画

教科：（インテリア）科目：（課題研究）

単位数：（4）単位

対象：（第 4 学年1科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（プリント等 ）

| | 指導内容 | 科目の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|---|--|---|----------|
| 4月 | テーマ決め テーマをもとに、コンセプト等を決定して いく。 | テーマをもとに取り組むべき内容を自分で考えることができる。 | 授業態度（姿勢）提出物 （作品等）・発表などを総 合して判断する。 | 6 |
| 5月 | テーマ決め テーマをもとに、コンセプト等を決定して いく。 | テーマをもとに取り組むべき内容を自分で考えることができる。 | | 12 |
| 6月 | 設計 図面を製作し、加工法などを決定してい く。 | 設計、詳細図を描くことのできる。 | | 10 |
| 7月 | 木取り 木取り作業及び加工（手押し鉋盤を使用） ステンボードを切り出す | 木工機械を使い、木取り作業ができる。 図面通りにステンボードをカットすることができる。 | | 6 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 作品製作（墨付け・加工） | 各部材の適切な加工方法を選択し、加工ができる。 | | 12 |
| 10月 | 中間発表 製作途中の課題についてまとめる。 | 必要に応じて、NCルータによる加工のためのCAD図面が制作できる。 | | 12 |
| 11月 | 様々な意見を基に課題の修正を行って いく。 | 進捗状況を把握し、課題を発見・訂正できる。 | | 19 |
| 12月 | 課題の細部の加工及び鉋掛けによる仕上げ | 鉋掛けのための刃研ぎができる。 模型家具の細かな所まで仕上げる ことができる。 | | 6 |
| 1月 | 仕上げ 金具など最終的な取付作業を行う。 | 金具やキャスター等の取り付け方が理解できる。 | | 14 |
| 2月 | 発表 | 自分が研究した成果を発表することができる。 | | 4 |
| 3月 | | | | |